



ごあいさつ

公益社団法人日本診療放射線技師会

会長 中澤 靖夫

第34回日本診療放射線技師学術大会ならびに第6回アジア放射線治療シンポジウムが9月21日(金)から23日(日・祝)までの3日間、山口県の海峡メッセ下関・下関市生涯学習プラザにおいて山内秀一大会長(一般社団法人山口県診療放射線技師会 前会長)の下、中四国地域に所属する各県診療放射線技師会の全面的なご協力のおかげで開催できますことを、心よりお礼申し上げます。

今大会のテーマは「国民と共にチーム医療を推進しよう」であり、サブテーマは山口県診療放射線技師会の総意を表した「時代の潮流を見極める」です。山口県下関市は本州最西端に位置し、海と緑に抱かれる歴史を秘めた海峡都市です。古くは江戸時代初期の剣術家宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘の地である巖流島が近くにあり、日露戦争(1904~1905)に勝利した立役者である乃木希典大将の地元(長府藩)であります。今年も全国47都道府県と連携しながら、診療放射線技師の「時代の潮流を見極める」を意識しながら、ワクワクドキドキするすばらしい学術大会となるよう、会員の皆さまと協力していきたいと思えます。

厚生労働省連携企画としましては「あなたの職場の感染管理は」「がん対策の推進 ~第3期がん対策推進基本計画について考える~」「精度・安全を高め、よりよい評価へ向けて」「診療放射線技師のチーム医療への参画」の4演題です。各演題には厚生労働省地域医療計画課、がん・疾病対策課、保険局医療課、医事課等に基調講演などをお願いしています。招待講演1としては「Development of Radiotherapy in Asia」と題して、Tan Chek Wee氏(National University Cancer Institute ISRRRT Principal Radiation Therapist, Regional Director of ISRRRT for Asia Australasia Region)の講演、招待講演2としては「医療被ばくの適正管理のあり方について」と題して、熊野正士氏(放射線科診断専門医・参議院議員)の講演、6カ国による放射線治療シンポジウム、International Sessionの発表を予定しています。さらに会長講演・特別講演・教育講演・公開フォーラム・シンポジウム・学会企画・分科会企画・ハンズオンセミナー・サーベイ実習・一般研究発表・ランチョンセミナー・ブラッシュアップセミナー・スイーツセミナーなどを準備しています。また日本画像医療システム工業会ならびに関連医療機器メーカー・医薬品メーカーのご協力により、医療機器の展示、医薬品の展示を企画していますので、多くの会員の参加をお願い致します。

最後になりましたが、学術大会の開催に当たり、3年間の長きにわたり準備していただきました山内秀一大会長、三輪光良副大会長、岩永秀幸実行委員長、各実行委員の皆さま方に心から感謝を申し上げますとともに、会員の皆さま方のご参加とご協力をお願いする次第です。

平成30年8月吉日

公益社団法人日本診療放射線技師会

会長 中澤 靖夫